



# 大阪活性化推進総研

## ニュース

2021年1月1日  
第27号

### 明けましておめでとうございます。

皆様、お正月をいかにお過ごしでしたか？ 今年はずっと暮らす子供さんやお孫さんにも会えず、忘年会や新年会もなし、初詣にも行けず、つまらないと嘆いておられる方が多いのではないのでしょうか？

昨年はコロナに明け、コロナに暮れた一年でした。年が明けても、まだ気をゆるめられる状況ではありませんが、まずは元気で新しい年を迎えられたことを喜びたいと思います。

ODIも昨年はほとんどの活動を休止せざるを得ませんでした。屋外でのウォーキングや「ゴルフを楽しむ会」、そして少人数での「俳句の会」などは、十分な感染防止対策を取って行なったところ、むしろ運動不足を解消し、頭脳の刺激にもなると参加者の皆様にも喜ばれました。また、中止となった「講演と癒しのコンサート」に代えて、講師をお願いしていた当ODI顧問の宮坂昌之・大阪大学名誉教授に「新型コロナと私たちの生活」と題して誌上インタビューを行い、いたづらに恐れるのではなく賢い付き合いを、というお話を本ニュース第26号で皆様にお伝えすることができました。

今年は、感染者数が落ち着いてくれば春に「土曜元気寄席」「春のウォーキング」も実施の予定です。日程等詳細が決まればまた別途ご案内しますので、どうかご期待下さい。



### 秋のウォーキング、好評のうちに終了



2020年度のウォーキングは、春は新型コロナ・ウィルスの感染拡大を受けて中止、秋は第二波も沈静化してきた10月に以下の2回を実施しました。屋内イベントとは違い、感染リスクも低く、また適度な運動は健康維持のためにもプラス、との判断で体温計、消毒液なども準備し、細心の注意のもとに実施。いずれも好評のうちに無事、終了することができました。

(※次頁に第2回の写真と参加者の感想)

◎第1回：「當麻の里・二上山麓」コース 10月20日(火) 参加24名  
コース＝近鉄当麻寺駅—當麻寺—當麻山口神社—傘堂—道の駅ふたかみ—近鉄二上神社口駅(約4.5km)

◎第2回 「古くて新しい大阪港を巡る」コース 10月28日(水) 参加33名  
コース＝JR桜島駅—天保山渡船場—(渡船)—築港—天保山公園—天保山マーケットプレイス・海遊館広場(昼食)—中央突堤—赤レンガ倉庫—親水堤防—住吉神社—築港高野山—大阪メトロ大阪港駅(約4.0km)



## 古くて新しい大阪港巡り

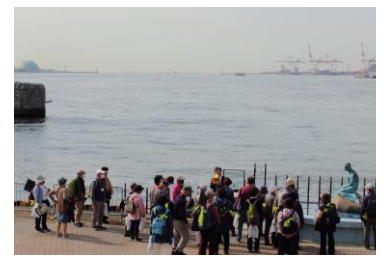
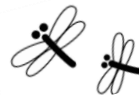
28年間他県に暮らし、故郷の大阪に戻ってきて、まず大阪市の地図を買った。万博の予定地は夢洲らしいが読み方も分からない。舞洲や咲州と、似た名前が並ぶがさっぱり覚えられない。一体、大阪港はどうなっているのかと思っていた所、この企画を知り、参加した。築港の中央突堤の先端に立ち湾に臨むと、左前方にコスモタワーの建つ咲州(南港)が、正面にはまだ何も建っていない夢洲、右前方には派手で楽しい廃棄物焼却工場の建つ舞洲(北港)がある。身体感覚を伴って地図が理解でき、しっかりと頭に入った。夢洲と舞洲は廃棄物を埋め立てているので、ゆっくりと出来上がる方が良いという説明もうなずけた。

コースはUSJのある此花区の桜島から出発。大阪市営の渡船に乗って、海遊館の建つ天保山に向かって安治川を渡った。船には座席が無い。自転車でも乗れる。無料！橋の代わりとしてとても便利であることが体験してよく分かった。

天保山は天保年間に安治川の浚渫工事で出た土を盛ってできた山。現在標高4.5m、日本で2番目に低い山である。ちゃんと三角点があった。水上消防署を見学して海遊館西波止場へ。沖の岸壁には大きなガントリークレーンが並んでいる。コンテナ荷役を効率的に行う近代的設備である。一方視線を安治川に転じると、大きな舢(はしけ)が小さなタグボートに引かれていくのが見える。昔の遺物かと思えるが、トラック輸送と比べ一度に大量に運べるので、CO2排出削減効果大という利点があるそう。昼食後、中央突堤を経て赤レンガ倉庫地帯へ。クラシックカーのミュージアムや、レストランとして利用されており、何ともお洒落な、いい雰囲気醸し出している。昭和初期には倉庫の前に臨港鉄道が通っていて、岸壁一倉庫一鉄道が直結していたようだ。最後の訪問場所は築港高野山。そこには、昔荷役で命を落とした港湾労働者の慰霊碑が建っていた。

天保山からずっと一緒に歩き、丁寧な説明をして下さった、大阪港振興協会の有田正文氏から「大阪港の歴史」の資料を頂いた。古代、難波津から続く大阪港の歴史は、不況、戦争、財政難の中でも「大阪の繁栄は水運につながる」という市民の強い信念によって、官よりは民の力で築かれてきたことを知った。これぞ大阪の面目躍如たる所である。

歩数計は1万2千歩。一人での初参加ながら、親切なお声掛けを頂きながらのとても楽しい充実したウォーキングの一日でした。(大阪市 井上 薫)



# 年の暮れのしゃぐま老人

絵と文・木村桂子

「暦」の、一年の終わりと始まりは特別なものですが、その時期全財産を使い果たした男が出会ったのは？～香川県仲多度郡の昔話「貧乏神」をご紹介します。

\*昔、楽な暮らしを楽しんでいた夫婦がいた。ところが年を取るにつれて、どんどん貧乏になっていく。とうとう「正月が近づいても餅もつけぬ」ようになって、自分がすわっていた座板をかまどにくべて暖まった。すると奥からごそごと、ぼろを着た「しゃぐま（汚い）」の老人が出てきた。男は殴ろうとしたが「俺にも火にあたらせ」と言うので、あたらせてやった。するとその「しゃぐま」老人が言った。「わしは貧乏神だ。おまえの家内（妻）はご飯や残り物を長年捨ててくれたから、大好きで長居したが、今晚出ていくことに決めた。元の安楽な暮らしになりたければ、まず独り身になって町で酒を買ってこい」「酒を入れる徳利を買う金もない」と男が答えると、「しゃぐま」老人が金を出してくれたので、男は家内に暇を出してから、酒を買って来た。二人で酒を酌み交わしていると、「しゃぐま」老人が言った。「今晚は年（とし）の晩（ばん）じゃけ、殿さまの行列が表を通る。おまえはその殿さまの駕籠を、天秤棒で思い切りなぐれ」しばらくすると行列が来たので、男は殴ろうとしたが「下へ、下へ」と言っている先ぶれを殴ってしまった。すると死んだ先ぶれはみなボロボロと銅貨に変わった。「しゃぐま」老人があきれて言った。「明日元旦の晩に、また行列が来るけに、また殴れ」元旦の晩、男は一心に打ちかかって駕籠を殴った。中から一分（いちぶ）や小判がザクザク出てきて、男は元の分限者（ぶげんしゃ：金持ち）にもどれたそうだ。（岩波文庫『日本の昔話Ⅲ』より再話）

思いがけない「貧乏神」からの良い情報！～さてここで問題です。

もし殴りかかれなかったら、男はどうなるのでしょうか？～答え＝「貧乏神」になります。「貧乏神」に会ったことが無い方のために付け加えますと「しゃぐま」老人は情報を持っていてもチャンスをつかめないから、他人にチャンスは譲れる「利他」の人。～「人助け」の有名人ですよ！



## 俳句の会 第12回句会

秋というにはまだ暑さの残る10月2日（金）、第12回句会が大阪市の北区民センターで開かれました。

参加者は6人。夏の終わりから初秋の季節感が盛り込まれた18句の中から、人気投票では左枠内1句目の捨盆さんの作品が圧倒的な高得点を獲得しました。毎回、終了後、場所を変えてビールなど傾けつつ論評し合うのも楽しみの一つですが、多人数での飲食は危険とあって、すぐ解散が何となく物足りなく寂しい面々でした。早く安心して居酒屋談義ができる世の中に戻ってほしいものです。

☆第13回は1月29日（金）を予定していましたが、コロナの感染拡大により中止し、4月 日開催の予定です。俳句は初めて、という方も大歓迎！一度体験参加してみませんか？ 詳細は担当・松井(090-5046-4075)までお問合せ下さい。

< 用意するもの >

1. 短冊(幅3センチ、長さ15センチくらいの紙なら何でもよい)1枚に一句ずつ、計3句を書いてご持参ください。季題は自由です。
2. ノート、筆記用具、参加費 500 円

朝寒や	ベランダに	処暑の鐘	不漁とや	湧け羊	陽の影の	稲妻や
毛布を引き	植えし檸檬	読経響く	船足重き	鱗茜に	形変わりて	空断ち切り
てひと眠り	の 実重く	比叡山	秋刀魚船	鯖	秋になる	夏終わる
佳容子	佳容子	肇	喜代志	繁幸	一夫	捨盆



## 第16回Odiゴルフを楽しむ会

令和2年11月27日（金）茨木国際ゴルフ倶楽部にて開催。めったにない小春日和の好天気恵まれ全員つつがなく完走できました。メンバーの皆さんの日頃の鍛練と類まれな強運の賜物でしょう。

今回は新しいメンバーが1名参加、総勢9名でのラウンドでした。（担当＝平岡宣夫）

参加者の氏名及び表彰の状況はつぎの通り。（敬称略）

	氏名	表彰	NP
第1組	植田省吾	2位	
	佐藤徳治	BB	
	藤井健二	3位	○
第2組	米野悦治朗	7位	○
	木村壽秀		
	草野賢治	優勝	
第3組	小山基博		○
	安田清志		
	平岡宣夫	5位	



## 第6回「USJを楽しむ会」



12月1日（火）に開催。コロナの第3波感染拡大で、大阪での感染者数が急増したため、予定を取りやめた方が多く、参加者は過去最少の2名となりました。しかし好天に恵まれ12月初旬とは思えない暖かさで、入場者も少なかったため、ほとんど待つことなく、5時間ほどで、新規アトラクション3つを含む全アトラクション10個を制覇出来「かえってよかった」と、参加者は満足して帰られました。（担当＝出雲弘紀）



### \*皆様のご意見をお寄せください\*

コロナ禍の中、講演会&コンサートなど多人数が一堂に集まるイベントを開きにくい状況が続いています。今年、どう活動していけばいいのか、どんなことができるのか、ODIも模索中です。一案として、少人数での同好会、学習会はどうか、という意見もあります。たとえば落語研究会とか歴史散歩の会など、10人前後で誰かがリーダーになってみんなで話し合ったり、講師を招いたり、街を歩いたり…。形はいろいろ考えられます。皆様はどんな活動を望まれますか？「こんなことをやってみたい」と思われることはありませんか？ODIで実現可能かどうか検討させていただきます。ぜひ皆様のご意見をお寄せください！

**編集後記** 年末年始は大荒れとの天気予報は見事に外れ、大阪では三が日、いいお天気でした。有名寺社の初詣は控え、地元の神社にお詣りして初ウォーキングを楽しみました。コロナのおかげで地元を再発見できたお正月でした（吉）

### NPO 大阪活性化推進総研(ODI)

〒530-0005

大阪市北区中之島 4-2-28、甲南アセット中之島ビル

TEL 090-5251-8906

FAX 06-6438-9070

E-mail ica14229@nifty.com

URL <http://npo-odi.life.coocan.jp/>